

【参加希望者は、所属消防団へお問い合わせ下さい。お待ちしております。】

今後の消防団のあり方、役割を考えるシンポジウム

「活動しやすい消防団、やりがいのある消防団」

全国的に消防団員数の減少に歯止めが掛からず、地域防災力の確保に深刻な懸念が生じている。本県でも減少数が拡大しており、加入促進が喫緊の課題となっている。

新たな消防団員の加入を促進するためには、若い世代がやりがいを実感し誇りを持って活動出来る消防団であることが重要である。

本県の若い世代の考えを発信し、共通の認識を深めることを目的にシンポジウムを開催します。

1 日 時

令和6年2月17日（土） 13：30～16：30（受付：12時30分から）

2 会 場

パーティーギャラリー イヤタカ（秋田市中通 6-1-3 TEL018-835-1188）

3 参加人員

各市町村消防団より団長・女性を含む消防団員5名・消防担当者、
各消防本部消防長

4 内 容

- | | |
|-----------------|----------------------------------|
| (1) 開会 | 13：30 |
| (2) 開会のあいさつ | 秋田県総務部総合防災課 課長 和田 聡 |
| (3) 講演 | 13：40 |
| 講師 | 愛知県 安城（あんじょう）市消防団
元団長 太田 佳男 氏 |
| 《休憩》 | 14：50 |
| (4) パネルディスカッション | 15：00 |
| (5) 閉会のあいさつ | 一般財団法人 秋田県消防協会 会長 高橋 正尚 |
| (6) 閉会 | 16：30 |

パネルディスカッション

(1) テーマ

- ・「私たちが望む消防団」
- ・各パネリストがそれぞれの活動を通じて「私たちが望む消防団」を提案する。
- ・発表後に会場の参加者を交えて「私たちが望む消防団」について意見交換を行います。
- ・消防団員の加入促進につながるための認識の共有。

(2) コーディネーター

消防団加入促進モデル事業「ワークショップ」のアドバイザー
秋田市土崎消防署 副署長 宇佐美 晃市氏

(3) パネリストと発表内容

パネリスト① ネットワーク会議準備委員、若手消防団員推進チーム委員
地区ごとに開催した3回のワークショップより「私たちが望む消防団」を発信。

パネリスト② 大仙市女性消防団

全国女性消防操法大会出場や全国女性消防団員活性化石川大会事例発表など今年度の
大仙市女性消防団の活動と活性化石川大会で他消防団の活動から感じたこと。
これらの活動を通じて「私たちが望む消防団」を発信。

パネリスト③、④ 大館市消防団、美郷町消防団

消防団加入促進モデル事業「消防団活動の体験を伴うイベント」を実施した消防団の
発表。

開催内容と消防団が企画した内容の紹介。

効果（参加された地域の方の反応）や課題。

活動を通じて「私たちが望む消防団」とは？または「今、望まれている消防団」とは？
感じたことを発信。